

土木関係積算標準・積算要領

6 - 3

(開削・トンネル編)

新 旧 対 照 表

令和7年版

(令和7年11月)

ページ	改 正	現 行																																										
現9 改9	<p>(3) のみ のみは脱着用クロスビットφ45mm、ロットはH32mmのネジロットを標準とし、トンネル掘削1m当りの使用量はロットをネジクロスビットに換算し、使用量は次表を標準とする。 (個/トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <th style="width:15%;">工 法 \ 岩 別</th> <th>岩 I (IN-1)</th> <th>岩 I (IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> <tr> <td>補助ベンチ付全断面</td> <td>0.42</td> <td>0.41</td> <td>0.62</td> <td>0.99</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全 断 面</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.10</td> </tr> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。 [解 説] 1. 掘削設計断面積が標準断面積と異なる場合の各材料の使用量は、断面積比として算出する。 2. インバート発破(緩み発破)はトンネル掘削と同時にを行い、掘削設計断面にインバート+中央排水管断面の岩II:30%、岩III・岩IV:60%を加算して算出する。</p>	工 法 \ 岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	補助ベンチ付全断面	0.42	0.41	0.62	0.99	-	全 断 面	-	-	-	-	2.10	<p>(3) のみ のみは脱着用クロスビットφ45mm、ロットはH32mmのネジロットを標準とし、トンネル掘削1m当りの使用量はロットをネジクロスビットに換算し、使用量は次表を標準とする。 (個/トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <th style="width:15%;">工 法 \ 岩 別</th> <th>岩 I (IN-1)</th> <th>岩 I (IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> <tr> <td>補助ベンチ付全断面</td> <td>0.38</td> <td>0.37</td> <td>0.57</td> <td>0.90</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全 断 面</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.93</td> </tr> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。 [解 説] 1. 掘削設計断面積が標準断面積と異なる場合の各材料の使用量は、断面積比として算出する。 2. インバート発破(緩み発破)はトンネル掘削と同時にを行い、掘削設計断面にインバート+中央排水管断面の岩II:30%、岩III・岩IV:60%を加算して算出する。</p>	工 法 \ 岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	補助ベンチ付全断面	0.38	0.37	0.57	0.90	-	全 断 面	-	-	-	-	1.93						
工 法 \ 岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																							
補助ベンチ付全断面	0.42	0.41	0.62	0.99	-																																							
全 断 面	-	-	-	-	2.10																																							
工 法 \ 岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																							
補助ベンチ付全断面	0.38	0.37	0.57	0.90	-																																							
全 断 面	-	-	-	-	1.93																																							
現11 改11	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 (3) 燃料</p> $Y = \frac{14.5}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m) P : 軽油単価 (円/ℓ)</p>	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 (3) 燃料</p> $Y = \frac{15.8}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m) P : 軽油単価 (円/ℓ)</p>																																										
現14 改15	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料</p> $Y = 12 \times P / \ell_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) P : 軽油単価 (円/ℓ) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m)</p>	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料</p> $Y = 4.2 \times P / \ell_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) P : 軽油単価 (円/ℓ) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m)</p>																																										
現18 改18	<p>6-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは32R×45mmとし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <th style="width:15%;">種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I (IN-1)</th> <th>岩 I (IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> <tr> <td>ロックボルト 2m</td> <td>個</td> <td>1.24</td> <td>1.24</td> <td>1.42</td> <td>1.72</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3m</td> <td>〃</td> <td>1.85</td> <td>1.85</td> <td>2.14</td> <td>2.57</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>(注) ロットは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	ロックボルト 2m	個	1.24	1.24	1.42	1.72	-	ロックボルト 3m	〃	1.85	1.85	2.14	2.57	-	<p>6-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは32R×45mmとし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <th style="width:15%;">種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I (IN-1)</th> <th>岩 I (IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> <tr> <td>ロックボルト 2m</td> <td>個</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>1.29</td> <td>1.55</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3m</td> <td>〃</td> <td>1.66</td> <td>1.66</td> <td>1.94</td> <td>2.33</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>(注) ロットは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	ロックボルト 2m	個	1.11	1.11	1.29	1.55	-	ロックボルト 3m	〃	1.66	1.66	1.94	2.33	-
種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
ロックボルト 2m	個	1.24	1.24	1.42	1.72	-																																						
ロックボルト 3m	〃	1.85	1.85	2.14	2.57	-																																						
種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
ロックボルト 2m	個	1.11	1.11	1.29	1.55	-																																						
ロックボルト 3m	〃	1.66	1.66	1.94	2.33	-																																						
現47 改47	<p>12-3 給水設備 (1) 給水管 り) 材料費</p> $Y = (0.17 \times L + 0.34) \times D$ <p>上式中 L : トンネル延長 (km) Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費 (円/m)</p>	<p>12-3 給水設備 (1) 給水管 り) 材料費</p> $Y = (0.16 \times L + 0.33) \times D$ <p>上式中 L : トンネル延長 (km) Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費 (円/m)</p>																																										

ページ	改 正	現 行
<p>現 53 改 53</p>	<p>D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p> <p>2) トラック4t積 (クレーン装置付 2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円 <u> </u>) = 30×M×Sk 上式中 Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>	<p>D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p> <p>2) トラック4t積 (クレーン装置付 2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円 <u>/m</u>) = 30×M×Sk 上式中 Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>

ページ	改正	現行																														
現 16 改 16	7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費 $Y = 12 \times P / \ell_1$ 上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ)	7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費 $Y = 4.2 \times P / \ell_1$ 上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ)																														
現 19 改 19	7-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R×45mm とし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単位</th> <th>岩 I (IN-1・IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2.0m</td> <td>個</td> <td>1.24</td> <td>1.42</td> <td>(削除)</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.85</td> <td>2.14</td> <td>(削除)</td> </tr> </tbody> </table> (注) ロック上は、クロスビットに換算してある。	種 別	単位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事	ロックボルト 2.0m	個	1.24	1.42	(削除)	ロックボルト 3.0m	〃	1.85	2.14	(削除)	7-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R×45mm とし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単位</th> <th>岩 I (IN-1・IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2.0m</td> <td>個</td> <td>1.11</td> <td>1.29</td> <td>(換)</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.66</td> <td>1.94</td> <td>(換)</td> </tr> </tbody> </table> (注) ロック下は、クロスビットに換算してある。	種 別	単位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事	ロックボルト 2.0m	個	1.11	1.29	(換)	ロックボルト 3.0m	〃	1.66	1.94	(換)
種 別	単位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事																												
ロックボルト 2.0m	個	1.24	1.42	(削除)																												
ロックボルト 3.0m	〃	1.85	2.14	(削除)																												
種 別	単位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事																												
ロックボルト 2.0m	個	1.11	1.29	(換)																												
ロックボルト 3.0m	〃	1.66	1.94	(換)																												
現 20 改 20	7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃 料 費 $Y = \frac{3.2}{\ell_1} \times P$ 上式中 Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)	7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃 料 費 $Y = \frac{3.1}{\ell_1} \times P$ 上式中 Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)																														
現 50 改 50	13-3 給水設備 (1) 給水管 ウ) 材料費 $Y = (0.17 \times L + 0.34) \times D$ 上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m単価…………… (円/m) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は、損率を考慮している。	13-3 給水設備 (1) 給水管 ウ) 材料費 $Y = (0.16 \times L + 0.33) \times D$ 上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m単価…………… (円/m) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は、損率を考慮している。																														
現 56 改 56	2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円) = 30×M×S k 上式中 S k : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)	2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円/m) = 30×M×S k 上式中 S k : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)																														

ページ	改 正	現 行																																										
現 11 改 11	<p>(3) のみ のみは脱着用クロスビットφ45 mm、ロットはH32 mmのネジロットを標準とし、トンネル掘削 1m当りの使用量はロットをネジクロスビットに換算し、使用量は次表を標準とする。 (個/トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">工 法</th> <th style="width:10%;">岩 別</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-1)</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-2)</th> <th style="width:10%;">岩 II</th> <th style="width:10%;">岩 III</th> <th style="width:10%;">岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助ベンチ付全断面</td> <td></td> <td><u>0.42</u></td> <td><u>0.41</u></td> <td><u>0.62</u></td> <td><u>0.99</u></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全 断 面</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td><u>2.10</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。</p>	工 法	岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	補助ベンチ付全断面		<u>0.42</u>	<u>0.41</u>	<u>0.62</u>	<u>0.99</u>	-	全 断 面		-	-	-	-	<u>2.10</u>	<p>(3) のみ のみは脱着用クロスビットφ45 mm、ロットはH32 mmのネジロットを標準とし、トンネル掘削 1m当りの使用量はロットをネジクロスビットに換算し、使用量は次表を標準とする。 (個/トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">工 法</th> <th style="width:10%;">岩 別</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-1)</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-2)</th> <th style="width:10%;">岩 II</th> <th style="width:10%;">岩 III</th> <th style="width:10%;">岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助ベンチ付全断面</td> <td></td> <td><u>0.38</u></td> <td><u>0.37</u></td> <td><u>0.57</u></td> <td><u>0.90</u></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全 断 面</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td><u>1.93</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。</p>	工 法	岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	補助ベンチ付全断面		<u>0.38</u>	<u>0.37</u>	<u>0.57</u>	<u>0.90</u>	-	全 断 面		-	-	-	-	<u>1.93</u>
工 法	岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
補助ベンチ付全断面		<u>0.42</u>	<u>0.41</u>	<u>0.62</u>	<u>0.99</u>	-																																						
全 断 面		-	-	-	-	<u>2.10</u>																																						
工 法	岩 別	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
補助ベンチ付全断面		<u>0.38</u>	<u>0.37</u>	<u>0.57</u>	<u>0.90</u>	-																																						
全 断 面		-	-	-	-	<u>1.93</u>																																						
現 13 改 13	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 3) 燃料</p> $Y = \frac{14.5}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 …… (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 …… (m) P : 軽油単価 …… (円/ℓ)</p>	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 3) 燃料</p> $Y = \frac{15.8}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 …… (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 …… (m) P : 軽油単価 …… (円/ℓ)</p>																																										
現 25 改 25	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料</p> $Y = 12 \times P / \ell_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル 1m当り燃料費 …… (円/m) P : 軽油単価 …… (円/ℓ) ℓ₁ : パターン別 1 発破進行 …… (m)</p>	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料</p> $Y = 4.2 \times P / \ell_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル 1m当り燃料費 …… (円/m) P : 軽油単価 …… (円/ℓ) ℓ₁ : パターン別 1 発破進行 …… (m)</p>																																										
現 28 改 28	<p>6-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R × 45 mm とし使用量は次表を標準とする。</p> <p>クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">種 別</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-1)</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-2)</th> <th style="width:10%;">岩 II</th> <th style="width:10%;">岩 III</th> <th style="width:10%;">岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2m</td> <td>個</td> <td><u>1.24</u></td> <td><u>1.24</u></td> <td><u>1.42</u></td> <td><u>1.72</u></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3m</td> <td>〃</td> <td><u>1.85</u></td> <td><u>1.85</u></td> <td><u>2.14</u></td> <td><u>2.57</u></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロットは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	ロックボルト 2m	個	<u>1.24</u>	<u>1.24</u>	<u>1.42</u>	<u>1.72</u>	-	ロックボルト 3m	〃	<u>1.85</u>	<u>1.85</u>	<u>2.14</u>	<u>2.57</u>	-	<p>6-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R × 45 mm とし使用量は次表を標準とする。</p> <p>クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">種 別</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-1)</th> <th style="width:10%;">岩 I (IN-2)</th> <th style="width:10%;">岩 II</th> <th style="width:10%;">岩 III</th> <th style="width:10%;">岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2m</td> <td>個</td> <td><u>1.11</u></td> <td><u>1.11</u></td> <td><u>1.29</u></td> <td><u>1.55</u></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3m</td> <td>〃</td> <td><u>1.66</u></td> <td><u>1.66</u></td> <td><u>1.94</u></td> <td><u>2.33</u></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロットは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV	ロックボルト 2m	個	<u>1.11</u>	<u>1.11</u>	<u>1.29</u>	<u>1.55</u>	-	ロックボルト 3m	〃	<u>1.66</u>	<u>1.66</u>	<u>1.94</u>	<u>2.33</u>	-
種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
ロックボルト 2m	個	<u>1.24</u>	<u>1.24</u>	<u>1.42</u>	<u>1.72</u>	-																																						
ロックボルト 3m	〃	<u>1.85</u>	<u>1.85</u>	<u>2.14</u>	<u>2.57</u>	-																																						
種 別	単 位	岩 I (IN-1)	岩 I (IN-2)	岩 II	岩 III	岩 IV																																						
ロックボルト 2m	個	<u>1.11</u>	<u>1.11</u>	<u>1.29</u>	<u>1.55</u>	-																																						
ロックボルト 3m	〃	<u>1.66</u>	<u>1.66</u>	<u>1.94</u>	<u>2.33</u>	-																																						
現 40 改 40	<p>III. 機械設備費 (1) 吹付けプラント ① 運転時間損料</p> $Y = \frac{(4.0V+10)}{6} \times \frac{1}{60} \times S h$ <p>上式中 Y : トンネル防水工1m当り運転時間損料額 …… (円/m) V : 1サイクル (6.0m) 当り施工モルタル注入数量 …… (m³) S h : バッチャープラント・骨材供給設備</p>	<p>III. 機械設備費 (1) 吹付けプラント ① 運転時間損料</p> $Y = \frac{(4.0\u{+}+10)}{6} \times \frac{1}{60} \times S h$ <p>上式中 Y : トンネル防水工1m当り運転時間損料額 …… (円/m) V : 1サイクル (6.0m) 当り施工モルタル注入数量 …… (m³) S h : バッチャープラント・骨材供給設備</p>																																										

ページ	改正	現行
<p>現 59 改 59</p> <p>現 65 改 65</p>	<p style="text-align: center;">の運転時間当り損料…………… (円)</p> <p>12-3 給水設備 (1) 給水管 ウ) 材料費 Y = (0.17×L + 0.34) × D 上式中 L : トンネル延長…………… (km) Y : 仮設鋼管 φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p> <p>2) トラック4t積 (クレーン装置付 2.9t吊) イ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円) = 30×M×Sk 上式中 Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>	<p style="text-align: center;">の運転時間当り損料…………… (円)</p> <p>12-3 給水設備 (1) 給水管 ウ) 材料費 Y = (0.16×L + 0.33) × D 上式中 L : トンネル延長…………… (km) Y : 仮設鋼管 φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p> <p>2) トラック4t積 (クレーン装置付 2.9t吊) イ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円/m) = 30×M×Sk 上式中 Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>

ページ	改 正	現 行																														
現 25 改 22	<p>7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費</p> $Y = 12 \times P / \varrho_1$ <p>上式中</p> <p>Y : パターン別トンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ϱ_1 : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ)</p>	<p>7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費</p> $Y = 4.2 \times P / \varrho_1$ <p>上式中</p> <p>Y : パターン別トンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ϱ_1 : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ)</p>																														
現 25 改 25	<p>7-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R×45mm とし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I (IN-1・IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2.0m</td> <td>個</td> <td>1.24</td> <td>1.42</td> <td>(削除)</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.85</td> <td>2.14</td> <td>(削除)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロック上は、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事	ロックボルト 2.0m	個	1.24	1.42	(削除)	ロックボルト 3.0m	〃	1.85	2.14	(削除)	<p>7-2-2 材料費 (2) ネジクロスビットその他 ネジクロスビットは 32R×45mm とし使用量は次表を標準とする。 クロスビットの数量 (100本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I (IN-1・IN-2)</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト 2.0m</td> <td>個</td> <td>1.11</td> <td>1.29</td> <td>(換)</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト 3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.66</td> <td>1.94</td> <td>(換)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロック上は、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事	ロックボルト 2.0m	個	1.11	1.29	(換)	ロックボルト 3.0m	〃	1.66	1.94	(換)
種 別	単 位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事																												
ロックボルト 2.0m	個	1.24	1.42	(削除)																												
ロックボルト 3.0m	〃	1.85	2.14	(削除)																												
種 別	単 位	岩 I (IN-1・IN-2)	岩 II	記 事																												
ロックボルト 2.0m	個	1.11	1.29	(換)																												
ロックボルト 3.0m	〃	1.66	1.94	(換)																												
現 27 改 27	<p>7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃料費</p> $Y = \frac{3.2}{\varrho_1} \times P$ <p>上式中</p> <p>Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ϱ_1 : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)</p>	<p>7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃料費</p> $Y = \frac{3.1}{\varrho_1} \times P$ <p>上式中</p> <p>Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ϱ_1 : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)</p>																														
現 56 改 56	<p>13-3 給水設備 (1) 給水管 り) 材料費</p> $Y = (0.17 \times L + 0.34) \times D$ <p>上式中</p> <p>Y : 仮設鋼管 φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m単価…………… (円/m)</p> <p>(注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は、損率を考慮している。</p>	<p>13-3 給水設備 (1) 給水管 り) 材料費</p> $Y = (0.16 \times L + 0.33) \times D$ <p>上式中</p> <p>Y : 仮設鋼管 φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m単価…………… (円/m)</p> <p>(注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は、損率を考慮している。</p>																														
現 62 改 62	<p>2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) 4) 供用日当り損料 供用日損料額 (円) = 30×M×Sk</p> <p>上式中</p> <p>Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>	<p>2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) 4) 供用日当り損料 供用日損料額 (円/m) = 30×M×Sk</p> <p>上式中</p> <p>Sk : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>																														

ページ	改 正	現 行																																																
現9 改9	<p>(4) のみ のみは脱着用クロスビットφ45 mm、を標準とし、トンネル掘削 1m当りの使用量はロッドをクロスビットに換算し、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">(トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部</td> <td>クロスビット</td> <td>個</td> <td>0.33</td> <td>0.48</td> <td>0.73</td> <td>1.56</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大部</td> <td>クロスビット</td> <td>〃</td> <td>0.48</td> <td>0.70</td> <td>1.05</td> <td>2.35</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。</p>	区 分	名 称	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	記 事	一般部	クロスビット	個	0.33	0.48	0.73	1.56		拡大部	クロスビット	〃	0.48	0.70	1.05	2.35		<p>(4) のみ のみは脱着用クロスビットφ45 mm、を標準とし、トンネル掘削 1m当りの使用量はロッドをクロスビットに換算し、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">(トンネル1m当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部</td> <td>クロスビット</td> <td>個</td> <td>0.30</td> <td>0.44</td> <td>0.67</td> <td>1.45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大部</td> <td>クロスビット</td> <td>〃</td> <td>0.44</td> <td>0.64</td> <td>0.96</td> <td>2.18</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ビットの研磨、修理費を含む。</p>	区 分	名 称	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	記 事	一般部	クロスビット	個	0.30	0.44	0.67	1.45		拡大部	クロスビット	〃	0.44	0.64	0.96	2.18	
区 分	名 称	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	記 事																																											
一般部	クロスビット	個	0.33	0.48	0.73	1.56																																												
拡大部	クロスビット	〃	0.48	0.70	1.05	2.35																																												
区 分	名 称	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	記 事																																											
一般部	クロスビット	個	0.30	0.44	0.67	1.45																																												
拡大部	クロスビット	〃	0.44	0.64	0.96	2.18																																												
現11 改11	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 (3) 燃料</p> $Y = \frac{8.7}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m) P : 軽油単価 (円/ℓ)</p>	<p>5-1-4 機械設備費 I. さく岩設備 (3) 燃料</p> $Y = \frac{9.5}{\ell_1} \times P$ <p>上式中 Y : ドリルジャンボ、大型ブレーカのパターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) ℓ₁ : パターン別1発破進行 (m) P : 軽油単価 (円/ℓ)</p>																																																
現15 改15	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃 料 費</p> $Y = 12 \times P / L_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) P : 軽油単価 (円/ℓ) L₁ : パターン別1サイクル進行 (m)</p>	<p>6-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃 料 費</p> $Y = 4.2 \times P / L_1$ <p>上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料費 (円/m) P : 軽油単価 (円/ℓ) L₁ : パターン別1サイクル進行 (m)</p>																																																
現18 改18	<p>6-2-2 材料費 (1) ロックボルト及びクロスビット (イ) クロスビット (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスビット φ45 mm</td> <td>ロックボルト ℓ=2.0m</td> <td>個</td> <td>1.24</td> <td>1.42</td> <td>1.72</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロックボルト ℓ=3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.85</td> <td>2.14</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロッドは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	クロスビット φ45 mm	ロックボルト ℓ=2.0m	個	1.24	1.42	1.72	-		ロックボルト ℓ=3.0m	〃	1.85	2.14	-	-	<p>6-2-2 材料費 (1) ロックボルト及びクロスビット (イ) クロスビット (100本当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>岩 III</th> <th>岩 IV</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスビット φ45 mm</td> <td>ロックボルト ℓ=2.0m</td> <td>個</td> <td>1.11</td> <td>1.29</td> <td>1.55</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロックボルト ℓ=3.0m</td> <td>〃</td> <td>1.66</td> <td>1.94</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロッドは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV	クロスビット φ45 mm	ロックボルト ℓ=2.0m	個	1.11	1.29	1.55	-		ロックボルト ℓ=3.0m	〃	1.66	1.94	-	-								
種 別	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV																																													
クロスビット φ45 mm	ロックボルト ℓ=2.0m	個	1.24	1.42	1.72	-																																												
	ロックボルト ℓ=3.0m	〃	1.85	2.14	-	-																																												
種 別	単 位	岩 I	岩 II	岩 III	岩 IV																																													
クロスビット φ45 mm	ロックボルト ℓ=2.0m	個	1.11	1.29	1.55	-																																												
	ロックボルト ℓ=3.0m	〃	1.66	1.94	-	-																																												
現28 改28	<p>8-3 給水設備 (1) 給水管 1) 設備、撤去等 り) 材料費</p> $Y = (0.17 \times L + 0.34) \times D$ <p>上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費 (円/m) L : トンネル延長 (km) D : 仮設鋼管1m当り単価 (円/m) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p>	<p>8-3 給水設備 (1) 給水管 1) 設備、撤去等 り) 材料費</p> $Y = (0.16 \times L + 0.33) \times D$ <p>上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費 (円/m) L : トンネル延長 (km) D : 仮設鋼管1m当り単価 (円/m) (注1) 付属品を含む。 (注2) 材料費は損率を考慮している。</p>																																																

ページ	改 正	現 行
<p>現 32 改 32</p>	<p>2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円 <u> </u>) = 30×M×S k 上式中 S k : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>	<p>2) トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) ｲ) 供用日当り損料 供用日損料額 (円 <u> / m</u>) = 30×M×S k 上式中 S k : トラック4t積 (クレーン装置付2.9t吊) の供用日損料…… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)</p>

ページ	改 正	現 行																														
現 13 改 13	7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費 $Y = 12 \times P / L_1$ 上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料量…………… (円/m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ) L ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (円/m)	7-1-4 機械設備費 I. 吹付機械 (3) 燃料費 $Y = 4.2 \times P / L_1$ 上式中 Y : パターン別トンネル1m当り燃料量…………… (円/m) P : 軽油単価…………… (円/ℓ) L ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (円/m)																														
現 16 改 16	7-2-2 材料費 (2) クロスビットその他 クロスビットはφ45mmとし、使用量は次表を標準とする。 (100本当り) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト ℓ=2m</td> <td>本</td> <td>1.24</td> <td>1.42</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックボルト ℓ=3m</td> <td>本</td> <td>1.85</td> <td>2.14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロットは、クロスビットに換算してある。</p>	種 別	単 位	岩 I	岩 II	記 事	ロックボルト ℓ=2m	本	1.24	1.42		ロックボルト ℓ=3m	本	1.85	2.14		7-2-2 材料費 (2) クロスビットその他 クロスビットはφ45mmとし、使用量は次表を標準とする。 (100本当り) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>岩 I</th> <th>岩 II</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト ℓ=2m</td> <td>本</td> <td>1.11</td> <td>1.29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックボルト ℓ=3m</td> <td>本</td> <td>1.66</td> <td>1.94</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	単 位	岩 I	岩 II	記 事	ロックボルト ℓ=2m	本	1.11	1.29		ロックボルト ℓ=3m	本	1.66	1.94	
種 別	単 位	岩 I	岩 II	記 事																												
ロックボルト ℓ=2m	本	1.24	1.42																													
ロックボルト ℓ=3m	本	1.85	2.14																													
種 別	単 位	岩 I	岩 II	記 事																												
ロックボルト ℓ=2m	本	1.11	1.29																													
ロックボルト ℓ=3m	本	1.66	1.94																													
現 17 改 17	7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃料費 $Y = \frac{1.8}{\ell_1} \times P$ 上式中 Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)	7-2-4 機械設備費 I. せん孔機械 (3) 燃料費 $Y = \frac{1.4}{\ell_1} \times P$ 上式中 Y : ドリルジャンボトンネル1m当り燃料費…………… (円/m) ℓ ₁ : パターン別1サイクル進行…………… (m) P : 軽油単価…………… (円)																														
現 26 改 26	9-3 給水設備 (1) 給水管 1) 設備、撤去等 (ウ) 材料費 $Y = (0.17 \times L + 0.34) \times D$ 上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円/m) (注1) 付属品を含む (注2) 材料費は損料を考慮している。	9-3 給水設備 (1) 給水管 1) 設備、撤去等 (ウ) 材料費 $Y = (0.16 \times L + 0.33) \times D$ 上式中 Y : 仮設鋼管φ80mm配管延長1m当り材料費…………… (円/m) L : トンネル延長…………… (km) D : 仮設鋼管1m当り単価…………… (円/m) (注1) 付属品を含む (注2) 材料費は損料を考慮している。																														
現 30 改 30	2) トラック4t積(クレーン装置付2.9t吊) ㌠) 供用日当り損料 供用日損料額(円) = 30 × M × S k 上式中 S k : トラック4t積(クレーン装置付2.9t吊)の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)	2) トラック4t積(クレーン装置付2.9t吊) ㌠) 供用日当り損料 供用日損料額(円/m) = 30 × M × S k 上式中 S k : トラック4t積(クレーン装置付2.9t吊)の供用日損料…………… (円/日) M : 掘削開始からしゅん功までの月数…………… (月)																														

6-3-9 トンネル仮設備工（濁水処理設備）・機械損料表他【新旧対照表 R7.11】

種別	規格			基礎 価格 (千円)	使用 年数 (年)	年間標準			償却 費率 (%)	維持修 理費率 (%)	年間管 理費率 (%)	供用1日 当り損料 (円)	運転1時間 当り損料 (円)	摘要
	諸元	機関出力 kW (PS)	質量 (t)			運転時間 (時間)	運転日数 (日)	供用日数 (日)						
P10														
送風機														
	風量 500m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	30×2	1.3	5,570	11.5	—	130	190	93	55	8	3,530	(日)3,780	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 750m ³ /min、 風圧 3.4 Kpa	37×2	2.1	9,340	11.5	—	130	190	93	55	8	5,920	(日)6,340	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 1,200m ³ /min、 風圧 3.9 Kpa	55×2	7.8	14,600	11.5	—	130	190	93	55	8	9,260	(日)9,910	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 1,500m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	80×2	8.0	24,200	11.5	—	130	190	93	55	8	15,300	(日)16,400	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 2,000m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	110×2	8.2	27,800	11.5	—	130	190	93	55	8	17,600	(日)18,900	可変風量型・ サイレンサ型ファン
集塵機														
	定格風量 750m ³ /min	15	4.3	30,400	10.5	—	120	180	91	55	10	24,200	(日)24,300	伸縮ダクト φ1,400mm L=80m 含まない
	定格風量 2,400m ³ /min	64	6.8	56,500	10.5	—	120	180	91	55	10	45,000	(日)45,100	伸縮ダクト φ1,500mm L=80m 含まない
伸縮ダクト														
	φ1,400mm L=80m	—	1.4	17,600	10.5	—	120	180	91	55	10	14,000	(日)14,000	入口ダクトを含み、集塵機本体、 搭載用架台車含まない
	φ1,500mm L=80m	—	1.7	18,200	10.5	—	120	180	91	55	10	14,500	(日)14,500	入口ダクトを含み、集塵機本体、 搭載用架台車含まない
給水槽														
	鋼板製簡易水槽 容量20m ³	—	3.8	1,580	9.5	—	—	160	93	40	8	2,170	—	
ハンドドリル														
	空圧式 20kg級	—	0.02	213	5.5	—	70	120	93	25	8	292	(日)396	
工事用高圧洗浄器														
	モーター駆動吐出量30.10/min 圧力4.9MPa	3.7	0.11	402	11.0	—	110	150	93	125	8	328	(日)570	
(注1) トンネル掘削工(発破方式)において、トンネル専用機ではないホイールローダ・クローラローダ、バックホウ(大型ブレイカ用ベースマシン含む)・ダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、 岩石工に対する補正は次の補正率とする。補正率:岩Ⅰ:10% 岩Ⅱ:20% 岩Ⅲ、Ⅳ:25% (注2) 換日は、運転1日当り換算値である。 (注3) 作業坑ベルコン(搬出勾配+6%以上)基礎価格(単位:千円)=-0.0026L ² +151L+14,273 L=作業坑口延長(m) ※作業坑延長は2,000mまでとする。基礎価格は、作業坑の線形が直線の場合である。曲線の場合は別途考慮する。 (注4) 作業坑ベルコン(搬出勾配+6%未満及び下り勾配)基礎価格(単位:千円)=-0.0068L ² +130L+10,460 L=作業坑延長(m) ※作業坑延長は2,000mまでとする。基礎価格は、作業坑の線形が直線の場合である。曲線の場合は別途考慮する。														
新														
種別	規格			基礎 価格 (千円)	使用 年数 (年)	年間標準			償却 費率 (%)	維持修 理費率 (%)	年間管 理費率 (%)	供用1日 当り損料 (円)	運転1時間 当り損料 (円)	摘要
種別	諸元	機関出力 kW (PS)	質量 (t)			運転時間 (時間)	運転日数 (日)	供用日数 (日)						
旧														
送風機														
	風量 500m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	30×2	1.3	4,840	11.5	—	130	190	93	55	8	3,070	(日)3,290	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 750m ³ /min、 風圧 3.4 Kpa	37×2	2.1	8,120	11.5	—	130	190	93	55	8	5,150	(日)5,510	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 1,200m ³ /min、 風圧 3.9 Kpa	55×2	7.8	12,700	11.5	—	130	190	93	55	8	8,050	(日)8,620	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 1,500m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	80×2	8	21,000	11.5	—	130	190	93	55	8	13,300	(日)14,300	可変風量型・ サイレンサ型ファン
	風量 2,000m ³ /min、 風圧 4.9 Kpa	110×2	8.2	24,200	11.5	—	130	190	93	55	8	15,300	(日)16,400	可変風量型・ サイレンサ型ファン
集塵機														
	定格風量 750m ³ /min	15	4.3	30,400	10.5	—	120	180	91	55	10	24,200	(日)24,300	伸縮ダクト φ1,400mm L=80m 含まない
	定格風量 2,400m ³ /min	64	6.8	56,500	10.5	—	120	180	91	55	10	45,000	(日)45,100	伸縮ダクト φ1,500mm L=80m 含まない
伸縮ダクト														
	φ1,400mm L=80m	—	1.4	17,600	10.5	—	120	180	91	55	10	14,000	(日)14,000	入口ダクトを含み、集塵機本体、 搭載用架台車含まない
	φ1,500mm L=80m	—	1.7	18,200	10.5	—	120	180	91	55	10	14,500	(日)14,500	入口ダクトを含み、集塵機本体、 搭載用架台車含まない
給水槽														
	鋼板製簡易水槽 容量20m ³	—	3.8	1,580	9.5	—	—	160	93	40	8	2,170	—	
ハンドドリル														
	空圧式 20kg級	—	0.02	213	5.5	—	70	120	93	25	8	292	(日)396	
工事用高圧洗浄器														
	モーター駆動吐出量30.10/min 圧力4.9MPa	3.7	0.11	402	11.0	—	110	150	93	125	8	328	(日)570	
(注1) トンネル掘削工(発破方式)において、トンネル専用機ではないホイールローダ・クローラローダ、バックホウ(大型ブレイカ用ベースマシン含む)・ダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、 岩石工に対する補正は次の補正率とする。補正率:岩Ⅰ:10% 岩Ⅱ:20% 岩Ⅲ、Ⅳ:25% (注2) 換日は、運転1日当り換算値である。 (注3) 作業坑ベルコン(搬出勾配+6%以上)基礎価格(単位:千円)=-0.0026L ² +151L+14,273 L=作業坑口延長(m) ※作業坑延長は2,000mまでとする。基礎価格は、作業坑の線形が直線の場合である。曲線の場合は別途考慮する。 (注4) 作業坑ベルコン(搬出勾配+6%未満及び下り勾配)基礎価格(単位:千円)=-0.0068L ² +130L+10,460 L=作業坑延長(m) ※作業坑延長は2,000mまでとする。基礎価格は、作業坑の線形が直線の場合である。曲線の場合は別途考慮する。														

ページ	P11													
新	3 トンネル工事用濁水処理設備損料算定表													
	種別	規格			基礎価格	使用年数	標準使用			償却	維持修	年間管	供用1日 当り損料	運転1時間 当り損料
	諸元	機関出力	質量	(千円)	(年)	運転時間	運転日数	供用日数	費率	理費率	理費率	(円)	(円)	
		kW (PS)	(t)			(時間)	(日)	(日)	(%)	(%)	(%)			
	濁水処理プラント(トンネル用)													
	〔角形シクナ〕													
	処理能力 30m ³ /h	8.4	4.2	16,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	5,970	207	
	処理能力 60m ³ /h	15.0	9.3	25,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	9,040	314	
	処理能力 120m ³ /h	28.0	17.8	40,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	14,500	505	
	処理能力 180m ³ /h	32.0	29.5	45,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	16,300	564	
	処理能力 240m ³ /h	54.0	38.5	73,100	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	26,100	906	
	処理能力 300m ³ /h	56.0	40.4	75,100	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	26,800	931	
	処理能力 360m ³ /h	84.0	55.7	109,000	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	38,900	1,350	
	〔フィルタプレス〕													
	処理能力 30m ³ /h	9.4	7.3	23,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	8,390	345	
	処理能力 60m ³ /h	9.4	7.3	23,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	8,390	345	
	処理能力 120m ³ /h	9.4	18.1	29,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	10,500	431	
	処理能力 180m ³ /h	27.0	22.9	36,900	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	13,200	542	
	処理能力 240m ³ /h	27.0	22.9	36,900	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	13,200	542	
	処理能力 300m ³ /h	28.0	29.0	40,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	14,500	598	
	処理能力 360m ³ /h	28.0	30.5	44,600	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	15,900	656	
旧	3 トンネル工事用濁水処理設備損料算定表													
	種別	規格			基礎価格	使用年数	年間標準			償却	維持修	年間管	供用1日 当り損料	運転1時間 当り損料
	諸元	機関出力	質量	(千円)	(年)	運転時間	運転日数	供用日数	費率	理費率	理費率	(円)	(円)	
		kW (PS)	(t)			(時間)	(日)	(日)	(%)	(%)	(%)			
	濁水処理プラント(トンネル用)													
	〔角形シクナ〕													
	処理能力 30m ³ /h	8.4	4.2	16,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	5,970	207	
	処理能力 60m ³ /h	15.0	9.3	25,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	9,040	314	
	処理能力 120m ³ /h	28.0	17.8	40,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	14,500	505	
	処理能力 180m ³ /h	32.0	29.5	45,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	16,300	564	
	処理能力 240m ³ /h	54.0	38.5	73,100	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	26,100	906	
	処理能力 300m ³ /h	56.0	40.4	75,100	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	26,800	931	
	処理能力 360m ³ /h	84.0	55.7	109,000	19.9	67,100	3,600	4,700	97	35	6	38,900	1,350	
	〔フィルタプレス〕													
	処理能力 30m ³ /h	9.4	7.3	23,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	8,390	345	
	処理能力 60m ³ /h	9.4	7.3	23,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	8,390	345	
	処理能力 120m ³ /h	9.4	18.1	29,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	10,500	431	
	処理能力 180m ³ /h	27.0	22.9	26,900	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	13,200	542	
	処理能力 240m ³ /h	27.0	22.9	36,900	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	13,200	542	
	処理能力 300m ³ /h	28.0	29.0	40,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	14,500	598	
	処理能力 360m ³ /h	28.0	30.5	44,600	19.9	67,100	3,600	4,700	97	50	6	15,900	656	

6-3-9 トンネル仮設備工（濁水処理設備）・機械損料表他【新旧対照表 R7.11】

種別	規格			基礎 価格 (千円)	使用 年数 (年)	標準使用			償却 费率 (%)	維持修 理费率 (%)	年間管 理费率 (%)	供用1日 当り損料 (円)	運転1時間 当り損料 (円)	摘要
	諸元	機関出力	質量			運転時間 (時間)	運転日数 (日)	供用日数 (日)						
		kW (PS)	(t)											
〔中和・計測設備〕														
	処理能力 30m ³ /h	5.0	1.5	9,500	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	3,390	175	
	処理能力 60m ³ /h	6.0	1.8	11,200	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	4,000	206	
	処理能力 120m ³ /h	15.0	2.1	12,700	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	4,540	234	
	処理能力 180m ³ /h	24.0	2.6	16,200	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	5,790	298	
	処理能力 240m ³ /h	30.0	3.0	18,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	6,540	337	
	処理能力 300m ³ /h	30.0	3.0	18,300	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	6,540	337	
	処理能力 360m ³ /h	45.0	3.8	23,800	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	8,500	438	
〔炭酸ガスタンク〕														
	真空断熱式縦型10m ³ 貯蔵	-	8.3	10,800	19.9	67,100	3,600	4,700	97	75	6	3,860	199	
(注1) 中和・計測設備には、気化装置、ヒータ反応槽及び計測記録装置を含み、炭酸ガス供給設備(タンク、ポンペ)及び原水タンクは含まない。														

新

旧